



圓塾便り

615-8205

30 11

TEL: 075 382-1238

FAX: 075 382-1239

No.8

次号2011新春発行予定

梅雨の候

しとしと……じ
めじめ……雨が降
り続く梅雨のさな
か、心も沈みがち
になります。近
所の田んぼから聞
こえてくるカエル
の大合唱やアジサ
イの七変化を見て
いると……心は自
然と晴れてきます。



何といっても今
は、一年のうちで
一番日が長い時。
お日様と水の恵み
をたっぷり浴び
ながら、確実に景
色は夏めいてきて
います。

梅雨の中にささ
やかな楽しみを見
つけながら、夏の
到来を待ちましよ
う☆

圓塾祇園祭♪

梅雨が明けると
ようどその時、圓
塾祇園祭を開催し
ます！

今年の祇園祭は、
宵宵山の十五日
(木)と宵山の十
六日(金)、皆さま
とアットホームに
楽しみたい、別添
の通り、室内で暑
さをしのぎながら
のイベントです。
十名程度で満席
になってしまいう部
屋ですが、銚町の
ど真ん中もあり、
会場内に特設屋台
の開店、生のお囃
子がBGMの様に
聴こえる……そん
な環境です！
そして、豆講座

では祇園祭のいろ
は、本当の面白さ、
楽しみ方など……
よもやま話をご用
意しています☆
どうぞ、お気軽
にお立ち寄りくだ
さい。



豆講座開講時間
帯は、飲食付千円
を頂戴します。そ
の他の時間は、屋
台料理を楽しみな
がら涼んでいただ
くだけでもOKで
す。
ご来場の日時と
人数をご予約いた
だけると、大変あ
りがたいです*

五行の道をゆく

さあくる講座

『五行の道をゆ
く』では、木をテ
ーマにした「巨樹
を求めろ」、水をテ
ーマにした「疏水
名水に憩う」を終
えたところだ。

仁王さん、鞍馬
山尊天界、木の根
道、木々気生、
義経、天狗、絵馬、
貴船神社、諸羽神
社、琵琶湖疏水、
田辺朔郎、天智天
皇、道元禅師の言
葉、九頭龍銭洗弁
財天……沢山テ
マがありましたね。



ご参加されなか
った方々にも、こ
の中から梅雨時に
相応しく水に心を
感じるお話を、こ

の場を借りてお届
けします



人の悟をうる 水
に月が宿るがご
とし 月ぬれず
水やぶれず ひろ
くおほきなる光に
てあれど 尺寸の
水にやどり 全月
も彌天もくさの露
にもやどり 一滴
の水にもやどる

……訳……
人の悟りとは、
水に月が宿るよう
なものである。月
は濡れず、水は破
れず、共存する。
月は広くて大き
な光だけど、ほん
のわずかな水にも
宿る。また、月全
体が小さな草の露
にも宿れば、一滴
の水にも宿る。

……訳……
人の悟りとは、
水に月が宿るよう
なものである。月
は濡れず、水は破
れず、共存する。
月は広くて大き
な光だけど、ほん
のわずかな水にも
宿る。また、月全
体が小さな草の露
にも宿れば、一滴
の水にも宿る。

悟りが人を損な
わないのは、月が
水を損なわれない
と同じである。

これは道元禅師
の『正法眼蔵』の
現成公案「げんじ
ようこうあん」の
一節です。

広く大きな月の
光を、綺麗に宿せ
るように、自身の
心を澄ませておき
たいものです。



ご参加の皆さま
には、知的な情報
と共に、ココロと
カラダの散歩を満
喫していただきたい
いなあ……と、案内
人である父澤野道
玄と話し合い、検
分し、楽しく企画
させていただきます
います。

そこで、第一回、
二回目講座では、
木と水の恵みを浴
びながら、文化、
歴史に加え、ポエ
ジーやラジオ体操
を織り交ぜさせて
いただきました。

効果は、いかほ
どでしたでしょう
か？また率直なご
意見をお聞かせ下
さい。

『五行の道をゆ
く』後編、土、金、
火も、それぞれの
生命エネルギーを
享受する楽しいひ
と時を……心を込
めて、ご提供いた
します！

今なら、まだ数
名の空席ございま
す。後編からの
参加もOKです。
お申込み、お待ち
いたしております。

それでは……

皆様！くれぐれ
もご自愛の上、梅
雨を楽しみ、もし
て元気に夏をお迎
えくださいませ。